



1万7000坪の全天候型産業廃棄物処理施設
(千葉県木更津市)

- 本社所在地：千葉県木更津市清見台南一丁目11番11号
- 事業概要：産業廃棄物中間処理業
産業廃棄物収集運搬業
建造物解体業
建設機械リース業

- 常時使用する従業員：103人（2025年3月末時点）
- 現在の売上高：39.1億円（2025年3月期）
- 法人番号：2040002068096
- Web：https://www.wako-k.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
前橋和則

100%再生可能エネルギーによる循環型社会への貢献

当社は、産業廃棄物の再資源化を通じて循環型社会の構築に貢献すること、そして緑豊かな環境を未来の世代に引き継ぐことを最大の目標に掲げています。現在、産業の高度化・多様化が進む中、産業廃棄物の適正で安全・確実な処理へのニーズに対応するため、自家電源の完全再生可能エネルギー化や電動重機の導入、高効率再資源化施設の導入を進めることで、当社産業廃棄物処理・再資源化工場のカーボンニュートラルおよびさらなるゼロエミッションを実現し、他工場との差別化を図って事業競争力を高め、従業員の待遇改善、ひいては企業としての大きな成長を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 当社は、2030年の売上高100億円達成に向け、平均年率30%程度の成長を目指します。
- 2030年までに「RE100」に参加し、工場電源の100%再生可能エネルギー化を実現します。

課題

- 産業廃棄物処理・再資源化に伴うエネルギー消費（日本のCO₂排出量の約2%が廃棄物処理によるもの）
- 多様化する顧客ニーズに対応するための高度な廃棄物処理・再資源化工程の整備

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 太陽光パネルや蓄電設備の導入による、産業廃棄物処理・再資源化装置の電源の100%再生可能エネルギー化
- 電動重機の導入によるマテリアルハンドリングの脱炭素化ならびに新たな前処理設備の導入による、処理工程の高度化による、再資源化工場の受け入れ能力の向上
- 当社工場の先進性を活かした、大手ゼネコンなどの顧客とのリレーション強化（建設業における脱炭素化への貢献）

実施体制

社長直轄のプロジェクトとして「100億円プロジェクト」を新たに組成し、以下の体制で推進する。

- 設備導入：木更津工場 リサイクル生産技術部門
- 顧客リレーション強化・拡販：営業部
- 従業員待遇改善（賃上げ）：経理部

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現に向けて

当社の基幹工場である木更津工場は国内最大級の全天候型リサイクルプラントとして2021年に竣工しました。建設系廃棄物や混合廃棄物に対応した最新設備を導入し、高効率な処理を実現。再資源化率95%、埋め立て処分率5%以下を達成し、「ゼロエミッション」に貢献しています。50,000㎡の敷地内において、処理能力は1日あたり2,400トン、保管量は25,000㎡を誇ります。

今回、木更津工場ではさらなる高効率化と電源の脱炭素化を同時に実現することで、他工場との差別化を図ります。それにより、木更津工場の事業競争力を高め、主に大手ゼネコンなどの顧客に対して自社施設や脱炭素型製品を強くアピール。大規模案件の継続的な受注につなげ、**2030年度に売上高100億円の達成と「RE100」認証の取得**を目指します。

工場の高効率化に向けては、既存のディーゼル駆動によるコンクリートガラおよびがれき類破碎処理ラインを、電動駆動設備へ入れ替えることで、処理量の増大とさらなる効率化を図ります。あわせて、ディーゼル駆動の重機2台を電動重機に切り替えることで、処理量増加に伴うCO₂排出量の増加を抑制します。

さらに電源の脱炭素化として、上記の設備更新と並行して、自家消費用の太陽光パネルおよび充電設備（発電出力：1,990kW）を導入。これにより、工場で使用する電力をすべて再生可能エネルギーで賄い、カーボンニュートラルの実現に貢献します。2030年の「RE100」認証取得・実現を目指します。

